



新しいスタート

令和六年度の始まり

新しいスタッフを迎え、生徒たちは一つずつ学年を上げて、新年度のスタートを切りました。生徒の主体性を育て、可能性を引き出して、保護者の皆様や地域の皆様方に「口之津中は、よーがんばっとるばい」と言ってもらえるような学校づくりを進めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。



- 校長：大嶋博之、教頭：入江司
- 一年生：片山（英）・與那城（数）
藤井（技家・特支）
- 二年生：竹村（国）・松島友（理）
貞方（体）・菅（音）
- 三年生：加藤（社）・最上（数）
齊藤（体・特支）
- 深江中と兼任：山本純（美）
養護教諭：水田、学校支援員：高木
学校事務：石橋、心の教室相談員：濱田
特別支援教育助手：松島弘・山本寛
ALT：ソフィア、用務員：高田
スクールカウンセラー：鴨川

めざす生徒像

本年度、学校経営方針の中で「こんな生徒を育てよう」という目標を定めました。

◇求めて学び、主体性をもって

日々新たに進歩向上しようとする生徒
興味関心、チャレンジ精神、夢・希望・意欲
目標設定力、スケジュール管理能力、学力

◇感動や感謝の心をもって、

心豊かに生きる生徒
明るい挨拶、良好な人との接し方、事象や風景等に対する感性・情感、

◇自他ともに大切に、

思いやりをもって生活する生徒
思いやりのある生活態度、いじめをしない、他者との協力、ストレスマネジメント

◇チームやふるさと口之津・南島原に 積極的に貢献し、身近な人たちに 信頼される生徒

貢献活動（ボランティア等）への積極的な取組、
ふるさとへの理解と愛着、誇り、志

これからの世の中は「先が読めない」と言われていますが、一方で技術革新が進んだり、グローバルに人がつながり合ったりして新しい仕事が生まれていくとも言われています。これらのことから、主体的に学ぶことに意欲的で前向きな気持ちを保ち続けたり、他者と協調して高め合ったりするなど「生きる力」を高めることが求められています。



「主体性」が大事じゃき！

《新年度の配慮事項》

生徒の心に 寄り添って

新年度（特に新入生）は、ウキウキ元気いっぱい張り切っている生徒がいる一方、大きな不安の中でのこの日を迎えた生徒もいるかと思えます。そんな彼らの心に寄り添って、彼らのペースに配慮しながら歩んでいけたらと思います。保護者の皆様には、御家庭でのお子さんの様子にいつも以上に目を向けていただき、「おかしいな」というところがありましたら、いつでも学校に御連絡ください。どうぞよろしくお願ひします。



《 主な行事予定 》

《令和6年度 4月》

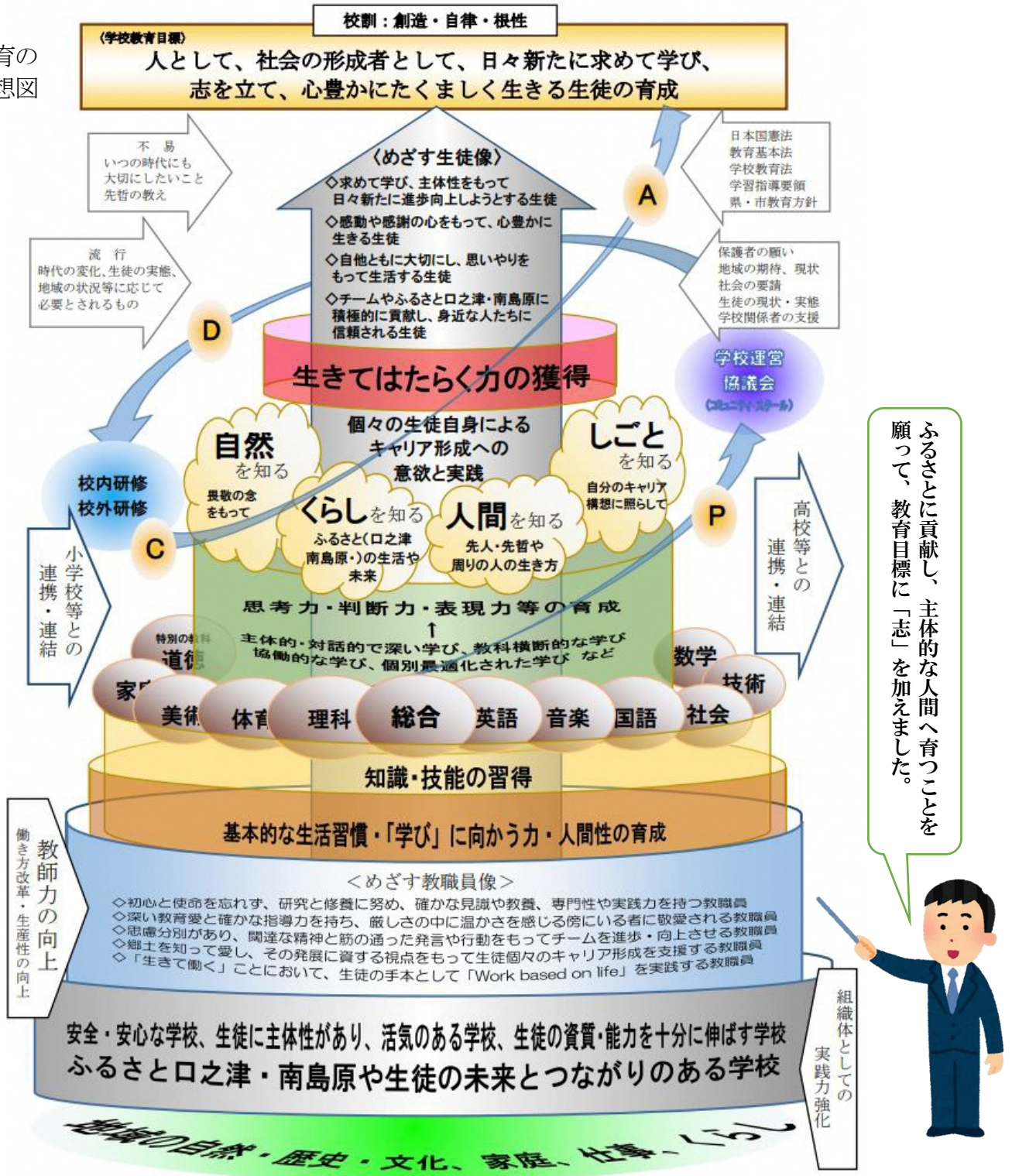
- 8日（月）着任式・始業式（給食あり）
- 9日（火）入学式（午前）
1年生育友会入会式
（給食は2・3年生のみ
新入生は午前で下校）
- 12日（金）生徒会入会式、部活動紹介
歓迎遠足（要弁当）
- 18日（木）全国学力調査（3年国・数）
県学力調査（2年国・数）
- 19日（金）県学力調査（3年英語）
- 23日（火）育友会総会、部活動の地域
クラブ化に関する説明会

《心に響いた光景》 生徒会の役員たちは、春休み中も新年度の準備に励んでいました。能登半島被災地への募金をはじめ、よく話し合いながら新しい取組を次々に打ち出している彼らに、新年度も期待しています。



学校教育目標 「人として、社会の形成者として、日々新たに求めて学び、志を立て、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」。

本校教育の
構想図



ふるさとに貢献し、主体的な人間へ育つことを願って、教育目標に「志」を加えました。

《本校教育の方向性について》

本校は、「個々の生徒自身によるキャリア形成への意欲と実践」を教育活動の真ん中に置いて進めていきます。別の表現をすれば、「将来の夢や希望を実現する力を育む」ということになります。一語で表せば『学ぶ力』の育成です。今までの授業でありがちな「教えてもらう(受け身)」ではなく「主体的に学んでいく」。自分で調べたり人の話を聞きに行ったり話し合ったりして、「現場・現物・現実」を自分で確かめる。そして自分なりに考えていろいろと組み合わせたりして新しいものを創り出す。そのような積極的な「学び方」が求められています。

《今日は何の日》 4月3日…十七条の憲法制定、4月4日…キャプテン 最終公演、4月7日…戦艦大和沈没、4月8日…ピカソ没、4月11日…武田鉄矢誕生、4月12日…ガガリン宇宙へ、4月13日…巖流島の決闘、4月14日…タイタニック沈没